

長岡市子育て世帯の生活に関する調査

集計結果報告書（速報 概要版）

令和6年2月

- 目次 -

I. 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
3. 配付数、回収数	1
4. 結果の見方	1
II. 調査結果	2
1. 経済的状況による区分の設定	2
2. 回答者の属性	3
(1) 回答者の続柄	3
(2) 婚姻状況	3
(3) 世帯類型	4
(4) 居住地域	4
3. お子さんの普段の生活	5
(1) 一人で朝食を食べる頻度	5
(2) ゲーム、スマートフォンの利用	6
(3) 学校の成績（小学生以上のみ）	7
(4) 学習の状況（小学生以上のみ）	8
(5) 子どもが利用できる機会、居場所の利用	10
(6) 子どもの所有と体験	11
4. 家族のお世話（小学生以上のみ）	15
(1) お子さんがお世話をしている家族の有無	15
(2) お世話をしていることでお子さんがした経験の有無	15
(3) 「ヤングケアラー」の認知度	16
5. 保護者の状況	17
(1) 保護者の状況	17
(2) 保護者の自己評価	18
6. 家計の状況	19
(1) 経済的な理由で購入できなかった、滞納した経験	19
(2) 暮らしの状況	20
7. 子育て環境や支援に対する満足度	20

I. 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、「第3期長岡市子ども・子育て支援事業計画」における子どもの貧困対策の検討するため、市内の子どものいる世帯の生活実態を把握することを目的として実施したものです。

2. 調査方法

調査対象	18歳未満の子どもがいる世帯
調査期間	令和6年1月9日～令和6年1月23日 (2月14日までに市役所に到着した回答票を集計対象としました)
調査方法	郵送配付、回収は郵送方式及びWEB回答方式

3. 配付数、回収数

配付数	回収数	有効回収数	有効回収率	(参考：回収方法別)			
				郵送回収		WEB回答	
				回収数	回収率	回収数	回収率
4000	2,964	2,964	74.1%	1,974	49.4%	990	24.8%

4. 結果の見方

- ・ グラフ・表中の「n」は構成比算出の母数を示しています。
- ・ 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。そのため、合計が100.0%にならない場合もあります。
- ・ 複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%となりません。
- ・ 質問文、選択肢の見出しを簡略化してある場合があります。
- ・ 比較できる質問は平成30年度調査(有効回収数:2,103票)の結果と比較をしています。
- ・ 本報告書では「両親が同居する世帯」を「ふたり親世帯」とします。

II. 調査結果

1. 経済的状況による区分の設定

本調査では、「所得の状況（問55（令和4年の世帯年収）」から「困窮世帯」「非困窮世帯」の区分を設定し、分析を行います。

「令和4年国民生活基礎調査」における「相対的貧困層の算出方法（考え方）」及び「1世帯当たり平均所得金額」を参考とし、世帯人数ごとの「貧困線相当年収額」の基準を定めました。

問55の回答から、この基準を上回る世帯を「非困窮世帯」、下回る世帯を「困窮世帯」と位置付けました。

図表 1 所得五分位階級ごとの係数

（金額単位：万円）

所得区分 （万円）	1世帯当たり 平均所得金額(a)	平均可処分 所得金額(b)	係数 (c)
第Ⅰ（～200）	122.9	109.3	1.12
第Ⅱ（～328）	267.3	229.9	1.16
第Ⅲ（～526）	426.8	350.3	1.22
第Ⅳ（～816）	660.1	528.6	1.25
第Ⅴ（816～）	1251.6	945.7	1.32

・(c)=(a)/(b)。 (a)及び(b)は「令和4年国民生活基礎調査」より引用

図表 2 世帯人数ごとの困窮世帯の区分

（金額単位：万円）

世帯人員数 （※1）	貧困線 (d)	係数（※2） (c)	対応する世帯 収入（e）	困窮世帯該当年収 （※3）
2人世帯	179.6	1.12	202.0	～200万円未満
3人世帯	220.0	1.16	255.8	～250万円未満
4人世帯	254.0	1.16	295.3	～300万円未満
5人世帯	284.0	1.16	330.2	～350万円未満
6人世帯	311.1	1.22	379.0	～400万円未満
7人世帯	336.0	1.22	409.4	
8人世帯	359.2	1.22	437.7	

・(e)=(d)*(c)。 (d)は「令和4年国民生活基礎調査」より引用

※1 世帯人員数は、問3（お子さんと同居し、生計を同一にしている家族の構成と人数）から算出した。

※2 「貧困線(d)の金額」が「平均可処分所得金額(b)」のいずれか最も近い金額に属する「係

数(c)」を採用した。

※3 問 55(令和4年の世帯年収)の選択肢は金額に幅があるため、その金額の中間値にて、「対応する世帯収入(e)の金額」が最も近い区分をもって、世帯人数に応じた困窮世帯に該当する年収を定めました。

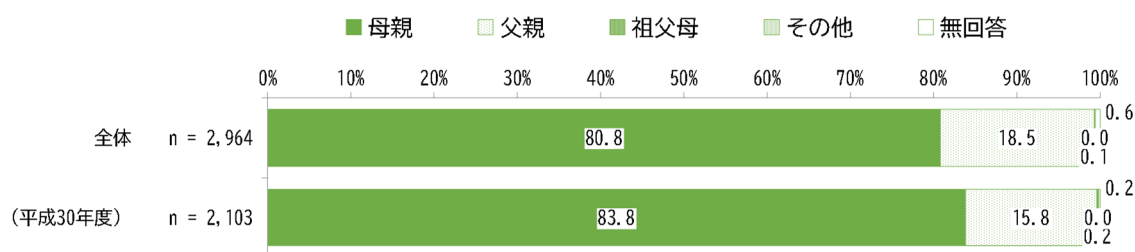
2. 回答者の属性

(1) 回答者の続柄

問1 ご回答いただく方はどなたですか。続柄は宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

➤ 「母親」が80.8%、「父親」が18.5%となっています。

図表3 続柄

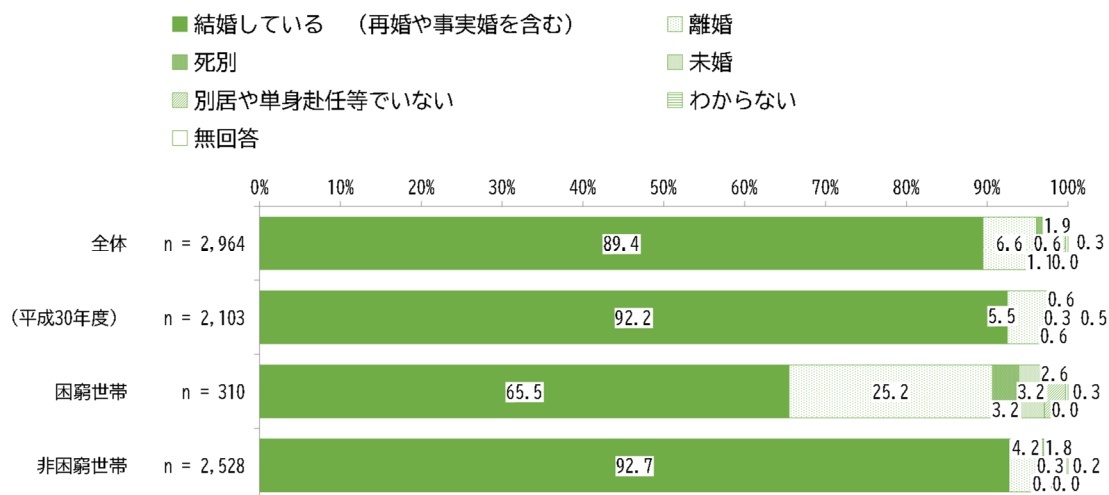


(2) 婚姻状況

問4 宛名のお子さんと同居し、生計を共にしている親の婚姻状況を教えてください。

➤ 「結婚している(再婚や事実婚を含む)」が89.4%で最も多く、次いで「離婚」が6.6%、「別居や単身赴任等でいない」が1.9%となっています。

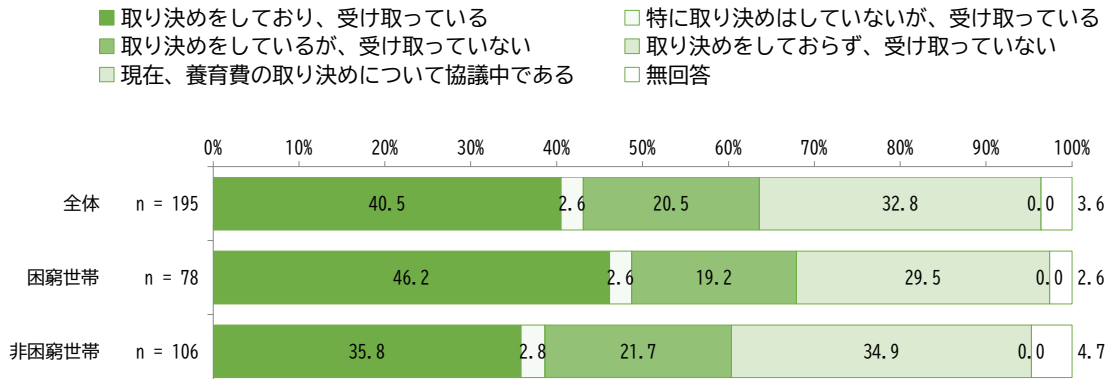
図表4 婚姻状況



問5 (離婚している方のみ) 離婚相手とお子さんの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(〇は1つ)

▶ 「取り決めをしており、受け取っている」が40.5%で最も多く、次いで「取り決めをしておらず、受け取っていない」が32.8%、「取り決めをしているが、受け取っていない」が20.5%となっています。

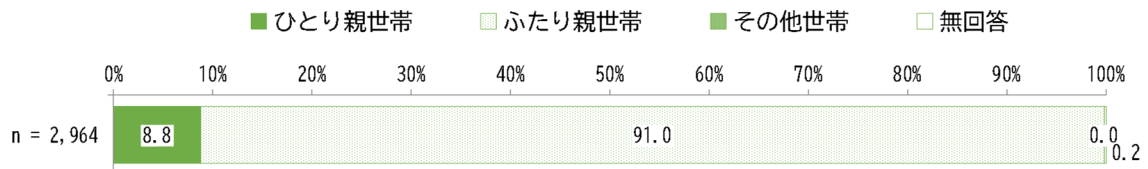
図表5 養育費の受け取り



※平成30年度調査は選択肢が異なるため参考となりますが「取り決めをしており、受け取っている」が30.2%、「受け取ったことがない」が45.7%でした。

(3) 世帯類型

問3 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。



※上記の質問に対する回答から設定した世帯類型です。無回答があるため、前頁の結果と一致しません。

(4) 居住地

問2 あなたのお住まいの地域はどちらですか。(〇は1つ)

図表6 居住地

	調査数	長岡地域 (川東地域)	長岡地域 (川西地域)	中之島地域	越路地域	三島地域	山古志地域	小国地域	和島地域	寺泊地域	栃尾地域	与板地域	川口地域	長岡市外	無回答
全体	2,964	49.4	26.2	3.8	5.2	2.4	0.1	1.3	1.3	2.8	3.8	1.7	1.0	0.0	0.8
(平成30年度)	2,103	72.9		4.1	4.5	1.7	0.1	2.2	1.4	2.6	7.0	1.8	1.3	0.0	0.1

※平成30年度調査では「長岡地域」にまとめています。

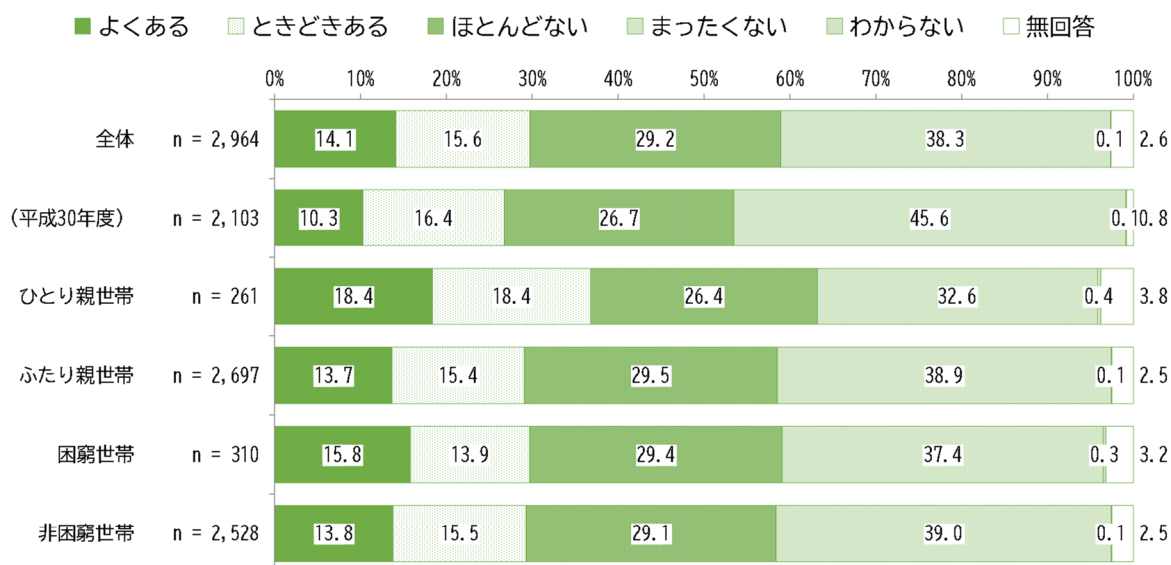
3. お子さんの普段の生活

(1) 一人で朝食を食べる頻度

問 10 普段、宛名のお子さんだけで朝食を食べることがありますか。(○は1つ)

➤ 「まったくない」が38.3%で最も多く、次いで「ほとんどない」が29.2%、「ときどきある」が15.6%となっています。

図表 7 一人で朝食を食べる頻度



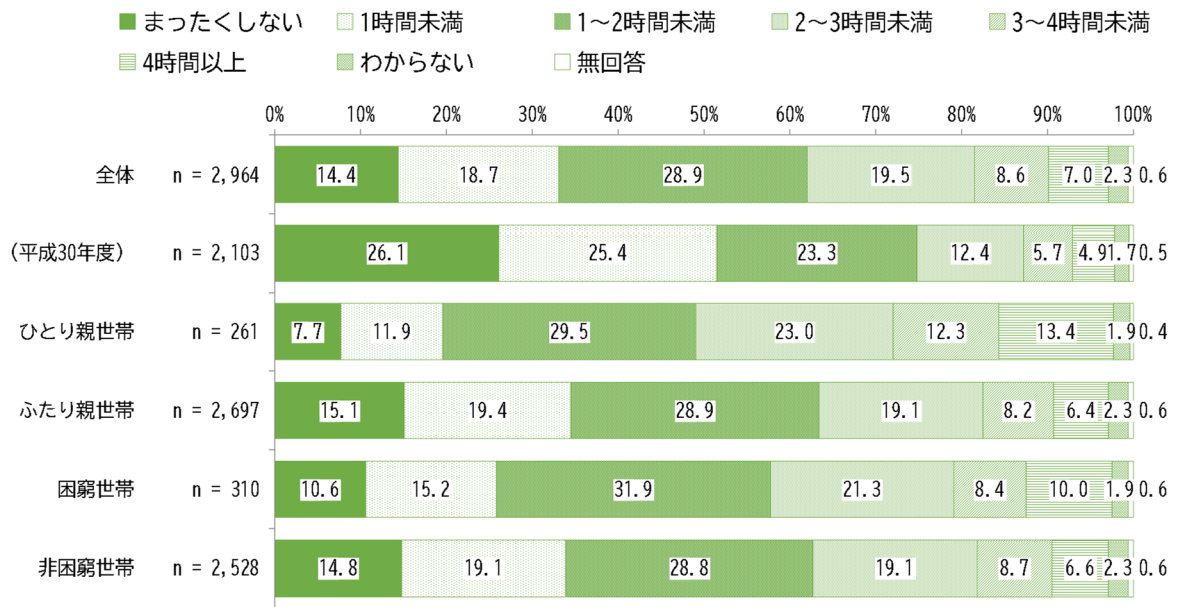
(2) ゲーム、スマートフォンの利用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問 16. 宛名のお子さんが家でゲームやスマートフォンを利用する時間は1日でどれくらいですか。

1) 平日

➤ 「1～2 時間未満」が 28.9%で最も多く、次いで「2～3 時間未満」が 19.5%、「1 時間未満」が 18.7%となっています。

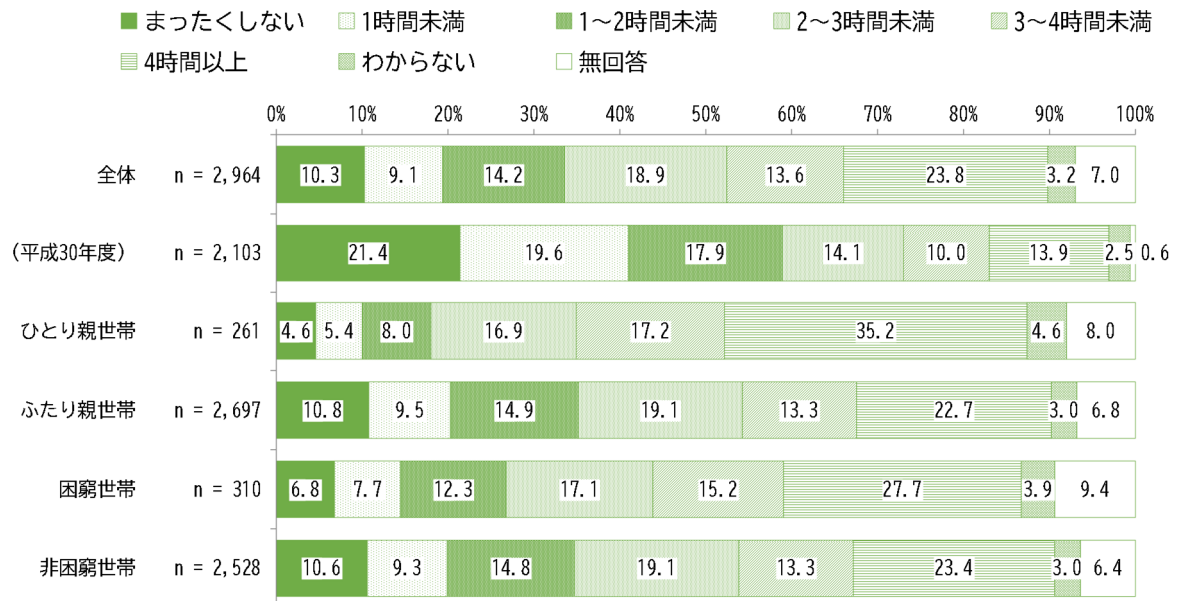
図表 8 ゲームやスマートフォンの利用(平日)



2) 休日

➤ 「4 時間以上」が 23.8%で最も多く、次いで「2～3 時間未満」が 18.9%、「1～2 時間未満」が 14.2%となっています。

図表 9 ゲームやスマートフォンの利用(休日)

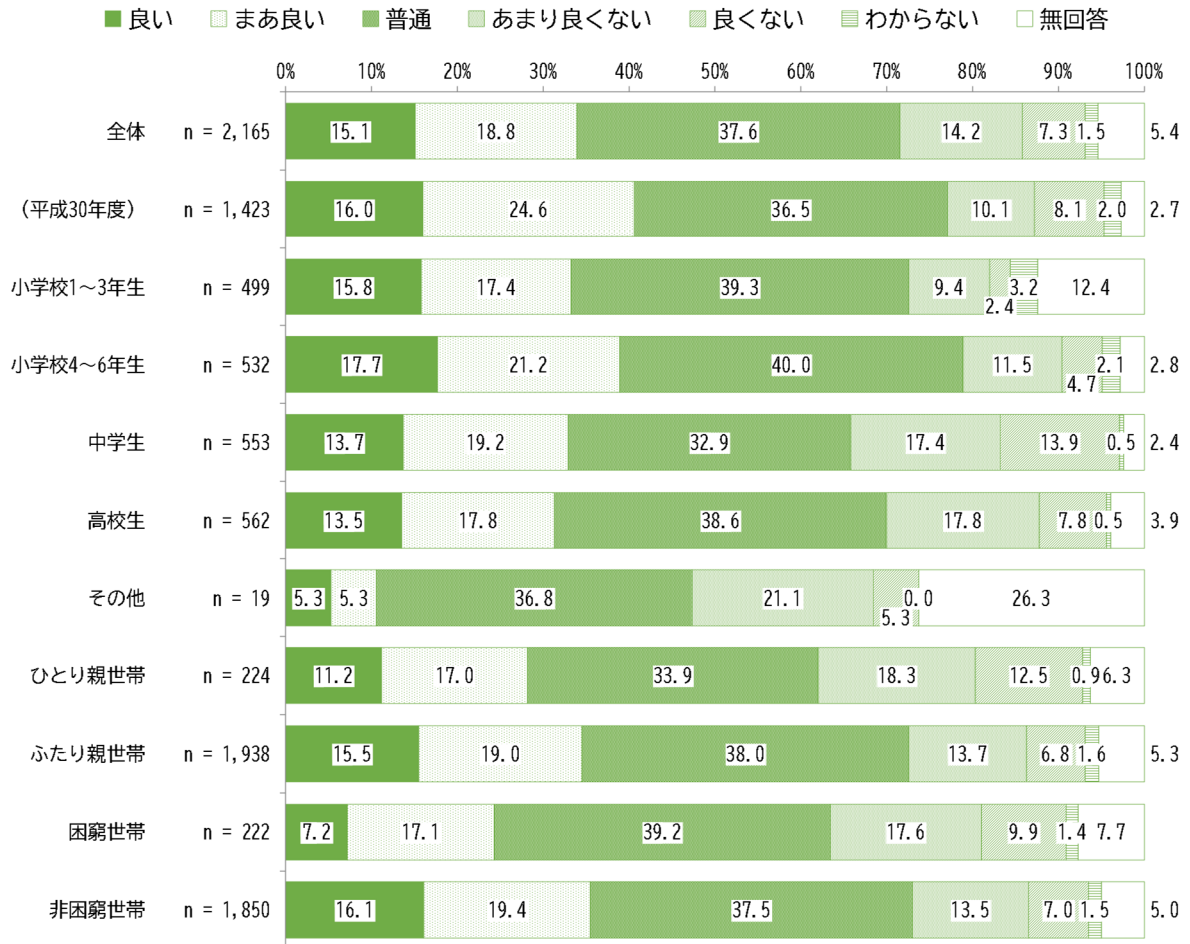


(3) 学校の成績（小学生以上のみ）

問 28 宛名のお子さんの学校の成績はどうか。（○は1つ）

➤ 「普通」が37.6%で最も多く、次いで「まあ良い」が18.8%、「良い」が15.1%となっています。

図表 10 学校の成績



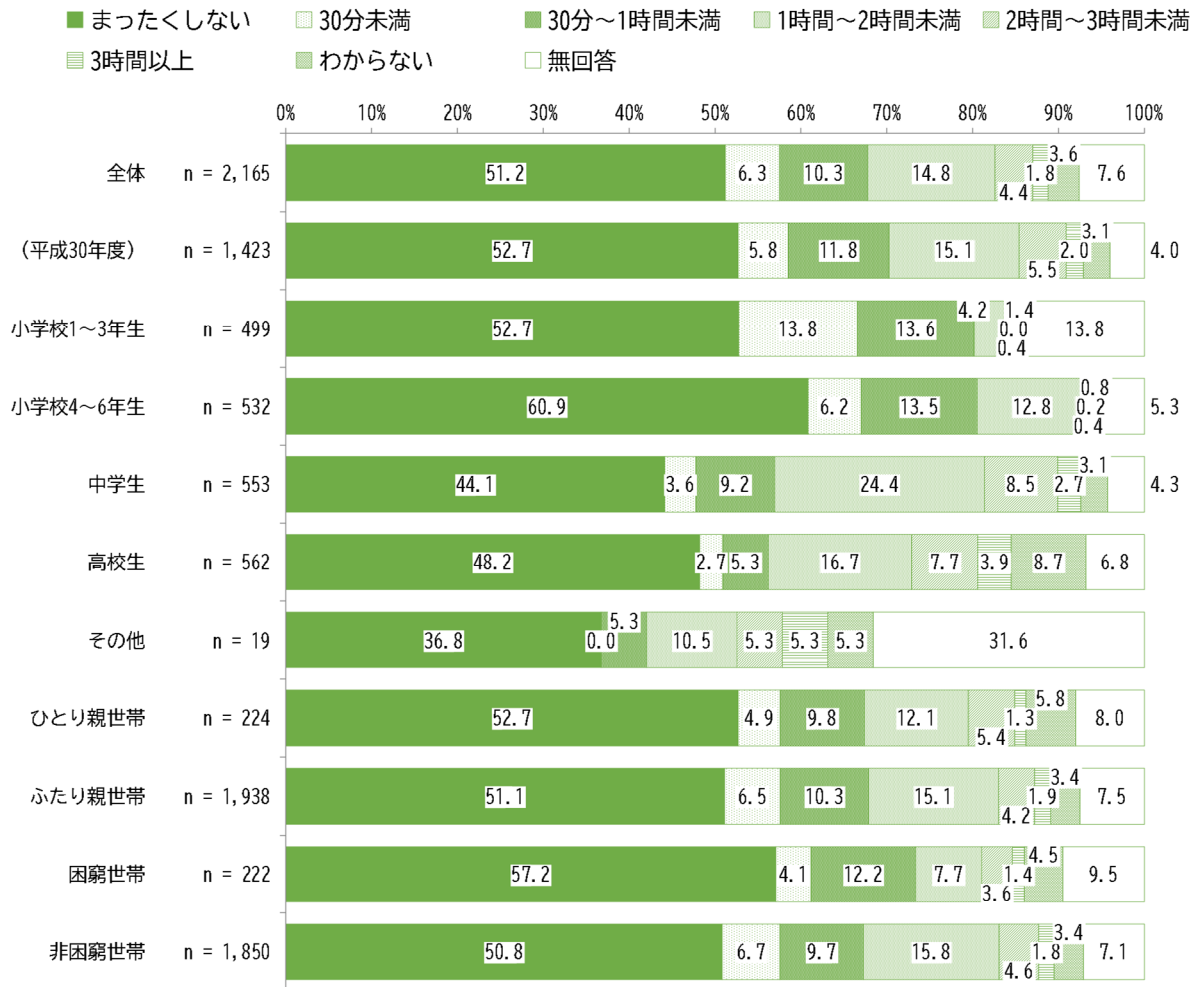
(4) 学習の状況（小学生以上のみ）

問 29 宛名のお子さんは、平日に学校以外の場でどれくらい勉強をしていますか。

1) 塾など自宅以外での勉強

➤ 「まったくしない」が 51.2%で最も多く、次いで「1 時間～2 時間未満」が 14.8%、「30 分～1 時間未満」が 10.3%となっています。

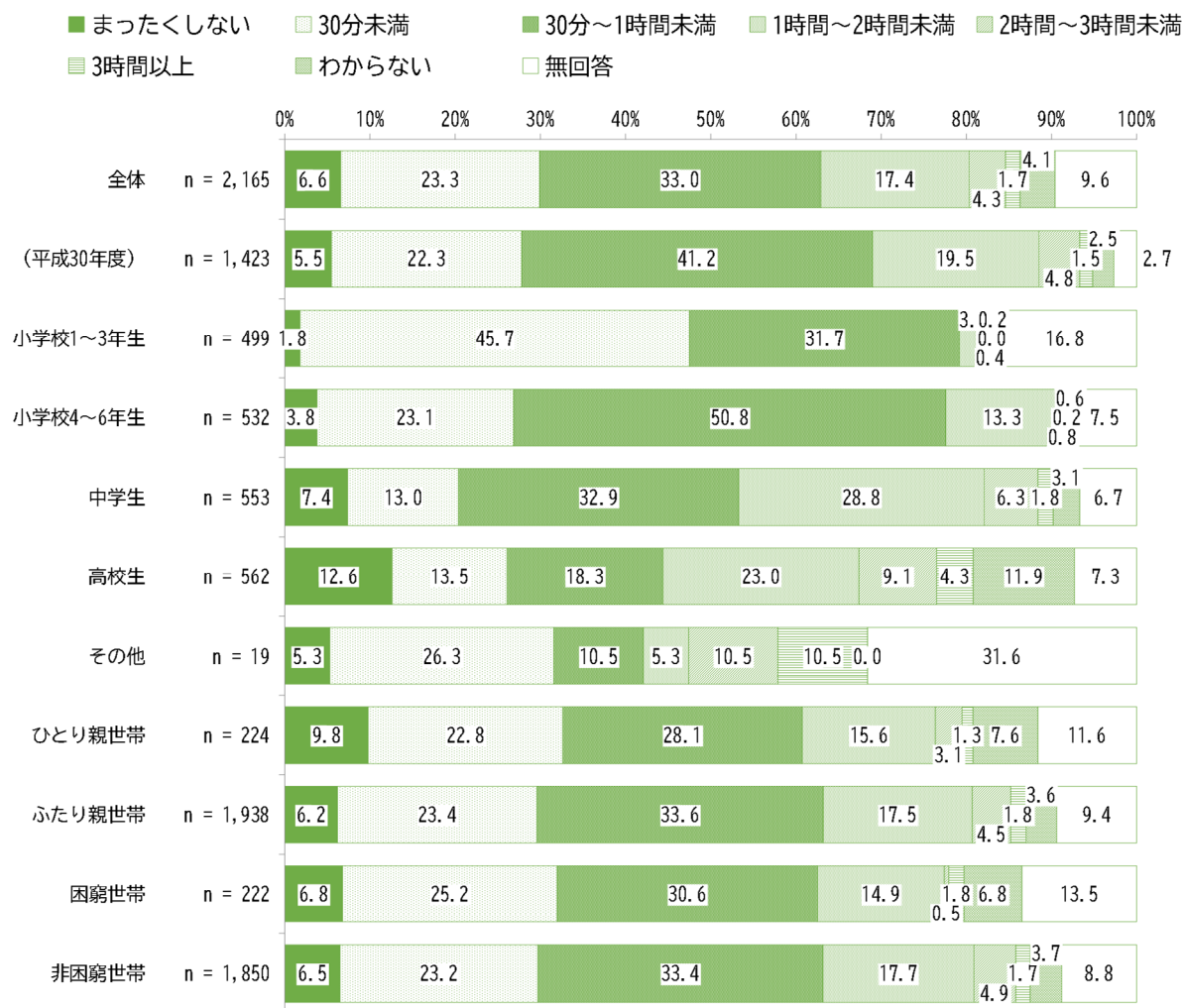
図表 11 学習の状況(塾など自宅以外)



2) 自宅での勉強

➤ 「30分～1時間未満」が33.0%で最も多く、次いで「30分未満」が23.3%、「1時間～2時間未満」が17.4%となっています。

図表 12 学習の状況(自宅)

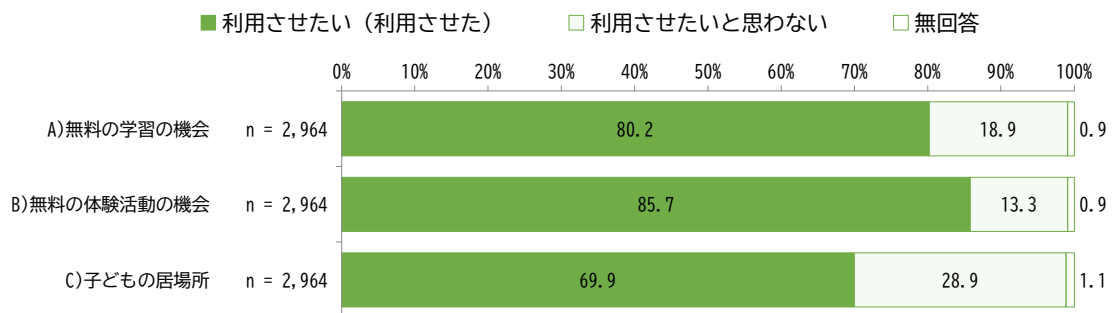


(5) 子どもが利用できる機会、居場所の利用……………

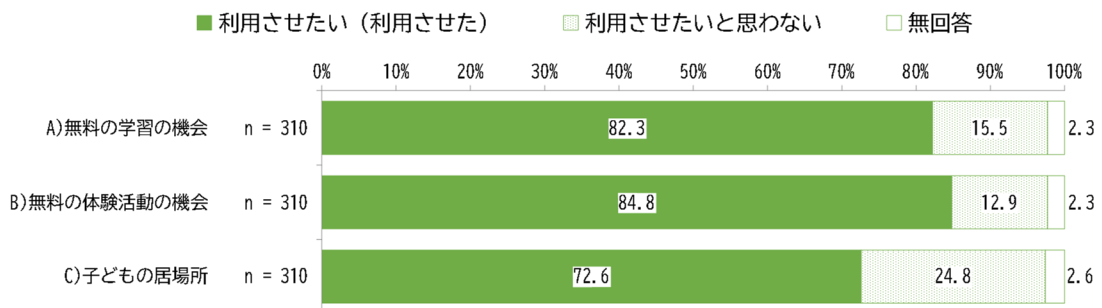
問 32. あなたは、無料の学習・体験活動の機会や子どもが利用できる居場所（低額での食事提供や地域交流の場）があった場合、子どもに利用させたいと思いますか。（それぞれ1つに○）

➤ 「利用させたい(利用させた)」の割合は無料の学習機会が 80.2%、無料の体験活動の機会が 85.7%、子どもの居場所が 69.9%です。

図表 13 子どもが利用できる機会、居場所の利用(全体)



図表 14 子どもが利用できる機会、居場所の利用(困窮世帯)



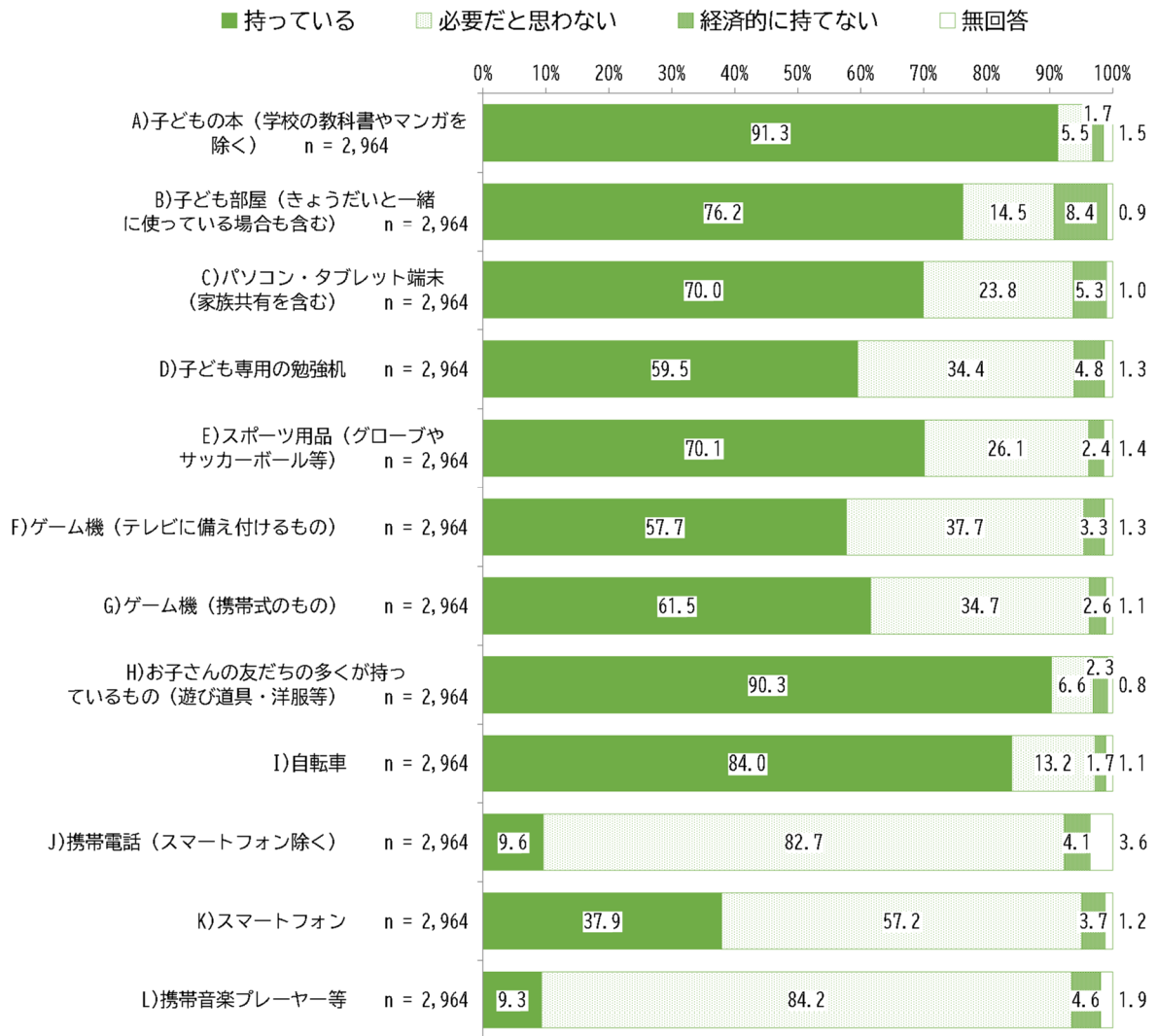
(6) 子どもの所有と体験

1) 所有

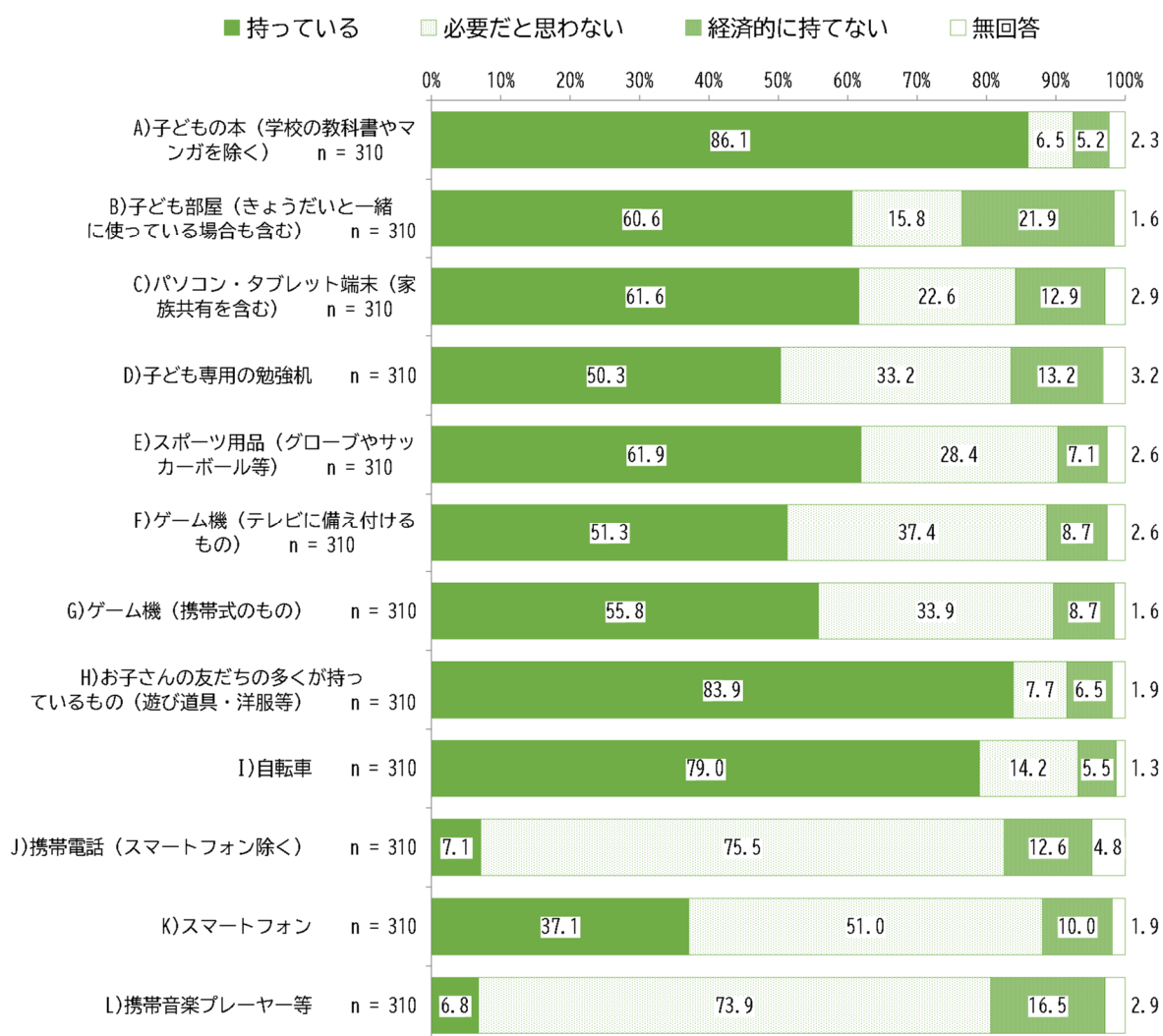
問 26. あなたのご家庭では、宛名のお子さんに以下のものを与えていますか。

(A~Lについて、それぞれ1つに○)

図表 15 子どもの所有(全体)



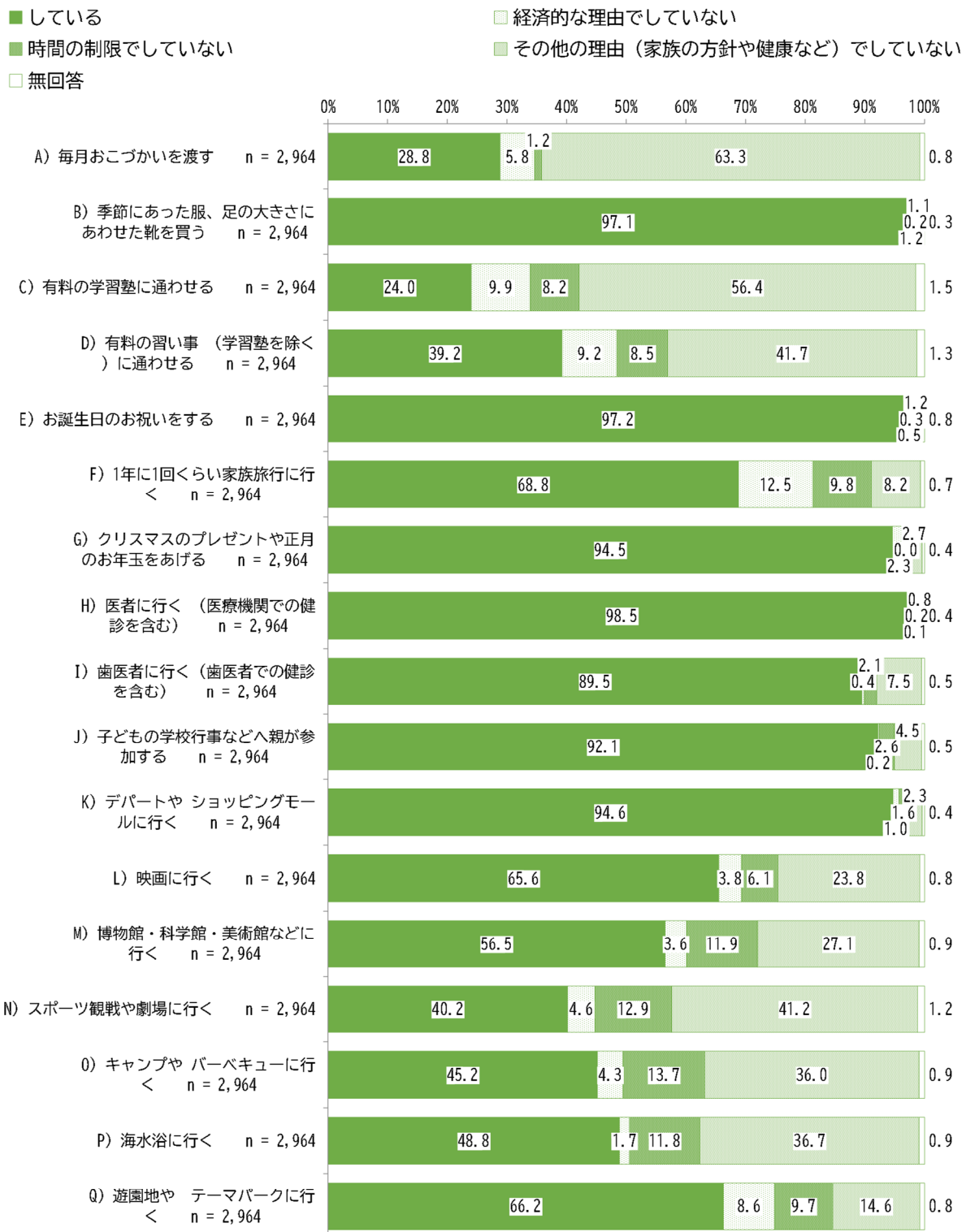
図表 16 子どもの所有(困窮世帯)



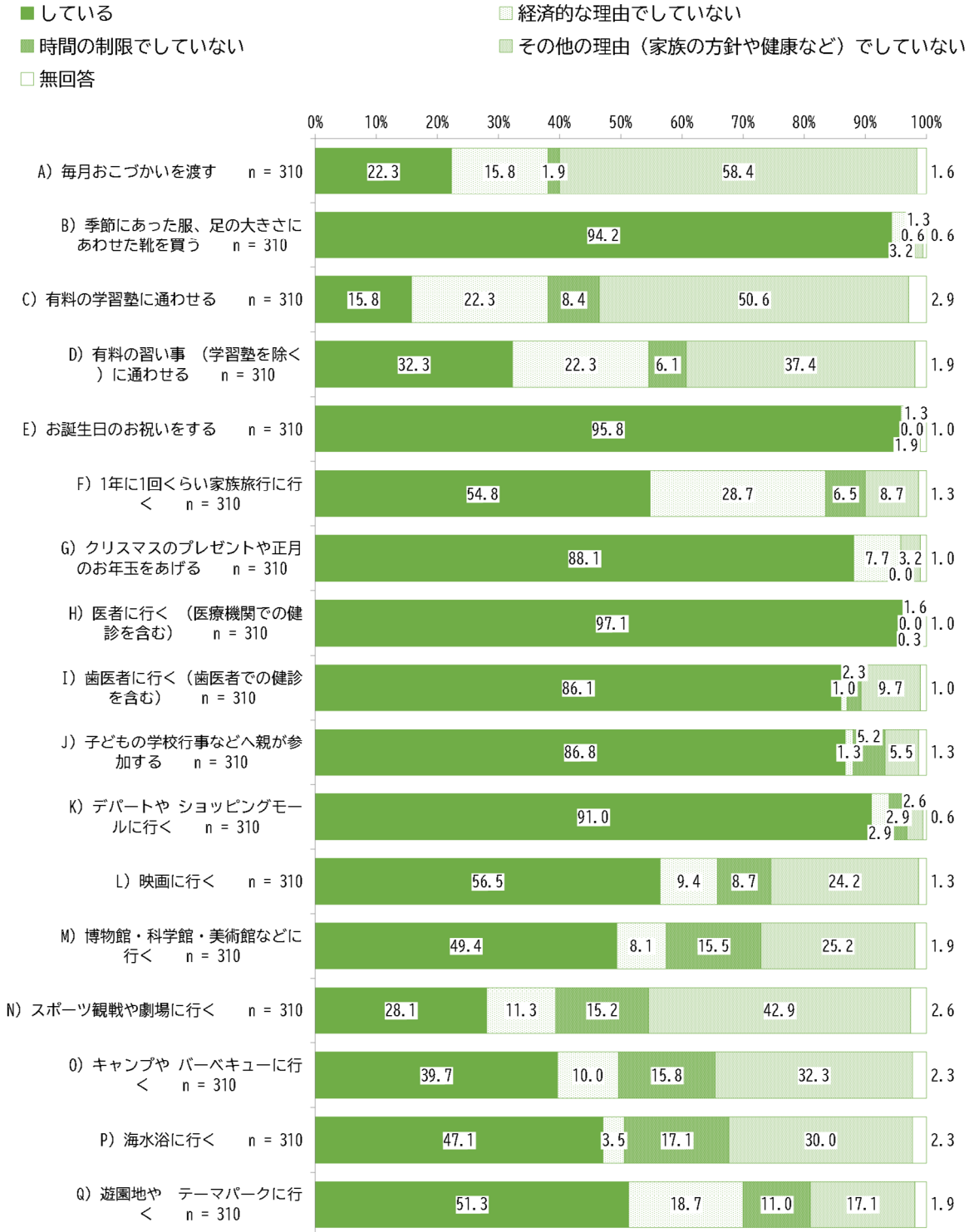
2) 体験

問 27. あなたのご家庭では、宛名のお子さんに以下のことをしていますか。(A~Q について、それぞれ1つに○)

図表 17 子どもの体験(全体)



図表 18 子どもの体験(困窮世帯)



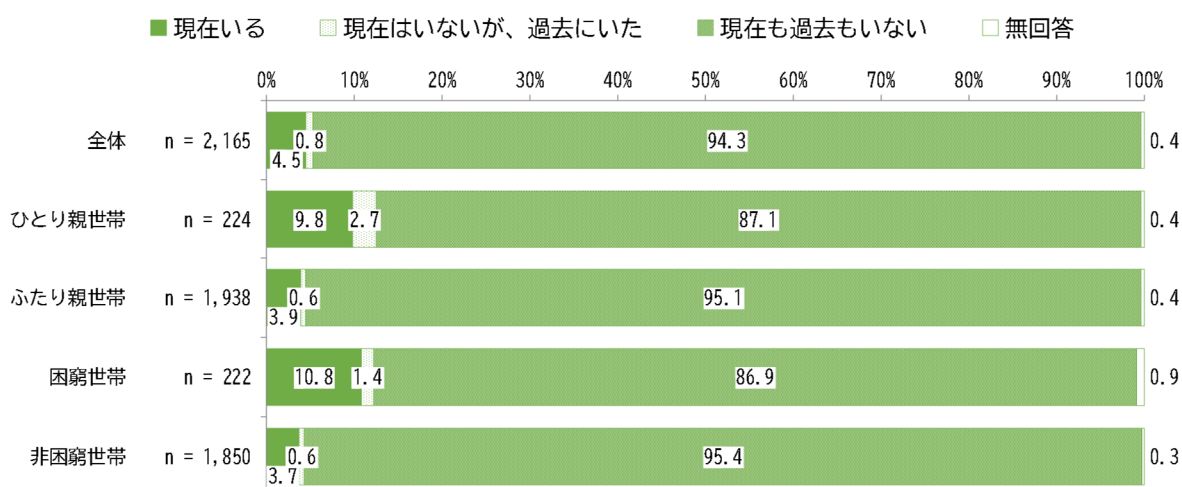
4. 家族のお世話（小学生以上のみ）

（1）お子さんがお世話をしている家族の有無

問 17. 家族の中に宛名のお子さんがお世話をしている人はいますか。（ここでいう「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話などをすることです。）（○は1つ）

- 「現在いる」は4.5%です。
- 「現在はいるが、過去にいた」は0.8%で、「現在も過去もない」は94.3%です。

図表 19 お子さんがお世話をしている家族の有無



※お手伝いの範囲に含まれることを回答している場合があります。

（2）お世話をしていることでお子さんがした経験の有無

問 22. 宛名のお子さんは家事やお世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。（○はいくつでも）

- 「特にない」が77.6%で最も多くなっています。
- 「学校を休んだ」が11.2%、「遅刻や早退をした」「自分の時間が取れない」が7.1%となっています。

図表 20 お世話をしていることでお子さんがした経験の有無

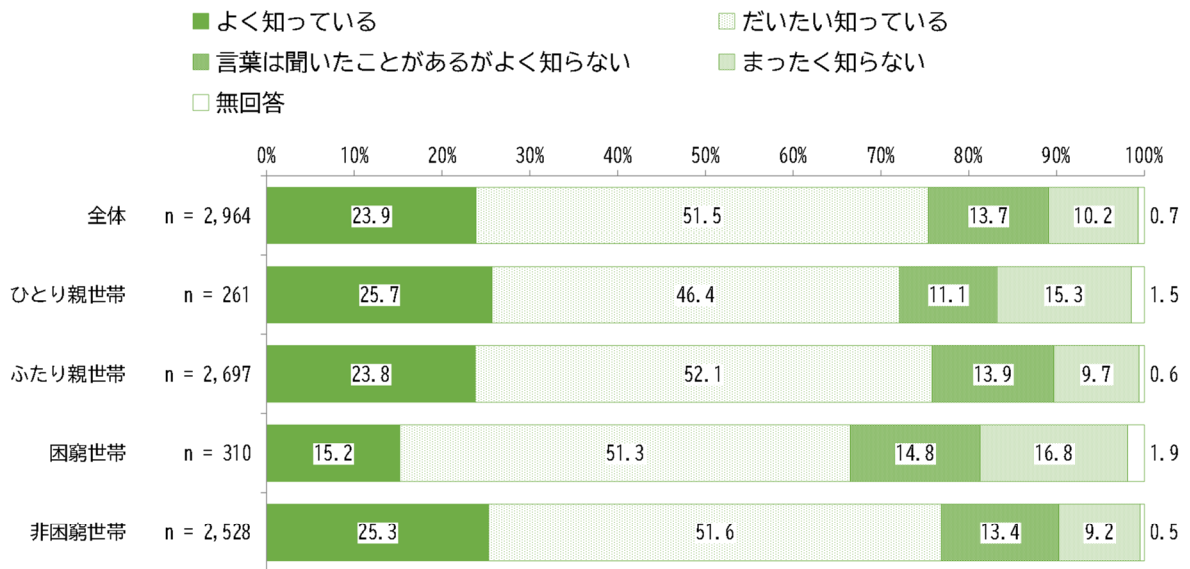
	調査数	学校を休んだ	遅刻や早退をした	宿題など勉強をする時間がない	部活に参加（所属）できない	眠る時間が足りない	習い事ができない	友達と遊ぶことができない	自分の時間が取れない	その他	特にない	無回答
全体	98	11.2	7.1	6.1	2.0	2.0	2.0	3.1	7.1	0.0	77.6	1.0
ひとり親世帯	22	13.6	4.5	4.5	9.1	4.5	4.5	4.5	9.1	0.0	72.7	0.0
ふたり親世帯	76	10.5	7.9	6.6	0.0	1.3	1.3	2.6	6.6	0.0	78.9	1.3
困窮世帯	24	16.7	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	0.0	4.2	0.0	75.0	4.2
非困窮世帯	68	8.8	5.9	7.4	1.5	1.5	1.5	2.9	8.8	0.0	79.4	0.0

(3) 「ヤングケアラー」の認知度.....

問 23. ヤングケアラーという言葉についてどれくらい知っていますか。(○は1つ)。

- 「よく知っている」「だいたい知っている」を合わせると75.4%です。
- 「まったく知らない」は10.2%です。

図表 21 「ヤングケアラー」の認知度

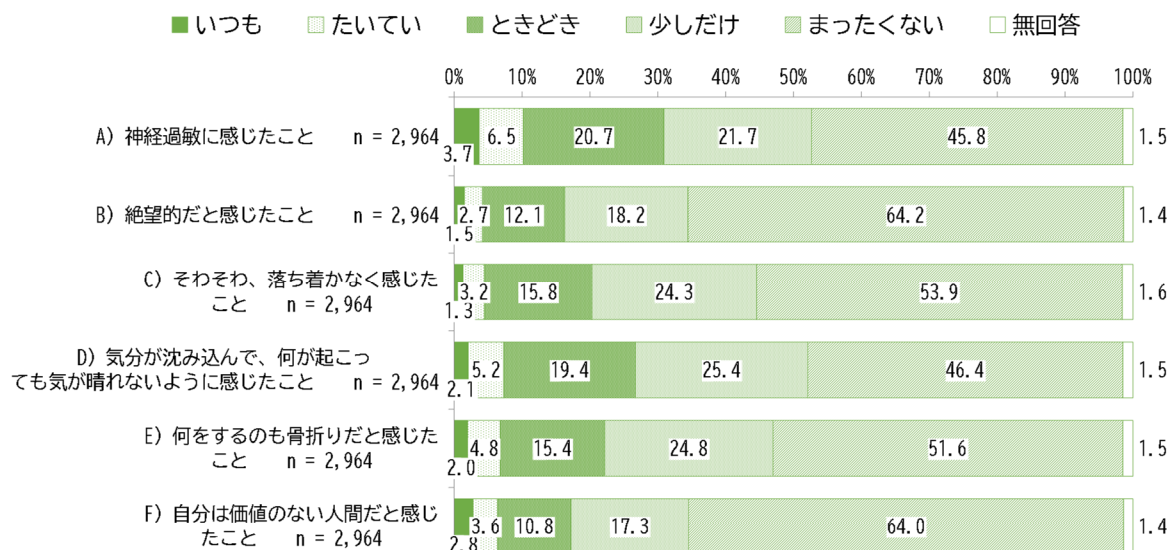


5. 保護者の状況

(1) 保護者の状況

問 49. あなたは、過去1か月で、どれくらいの頻度で以下のようなことがありましたか。

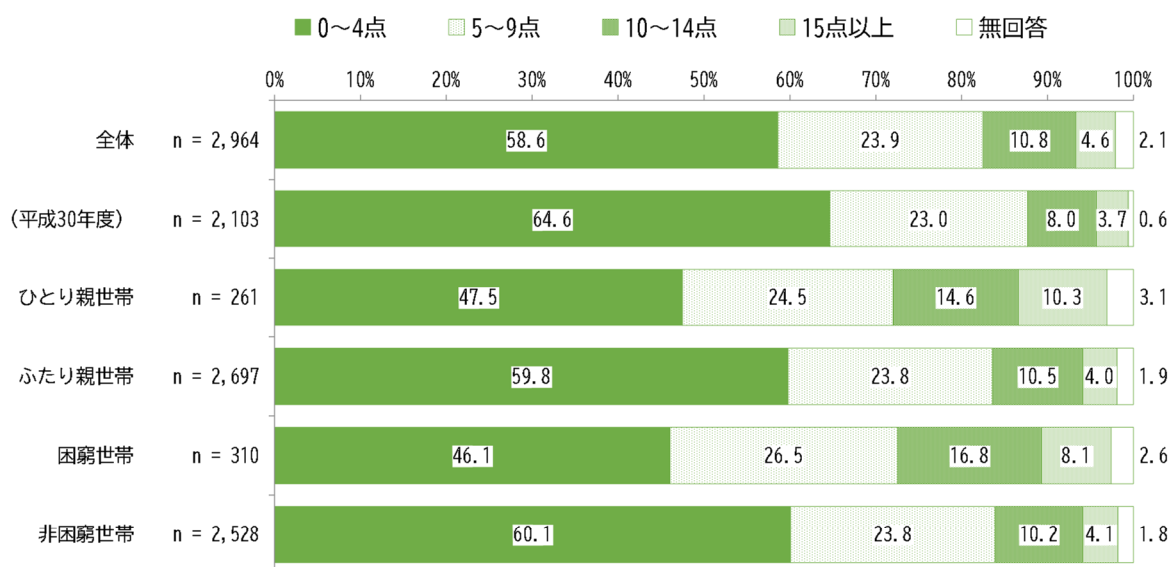
図表 22 保護者の状況



上図より、K6 スコアを算出しました。K6 とは、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニング（選別）するために開発された尺度です。上記6つの項目について5段階（「まったくない」（0点）、「少しだけ」（1点）、「ときどき」（2点）、「たいてい」（3点）、「いつも」（4点））で点数化し、6項目の合計点数が高いほど、精神的な問題がより重い可能性があります。

➤ 「0～4点」が58.6%、「5～9点」が23.9%となっています。

図表 23 K6 スコア

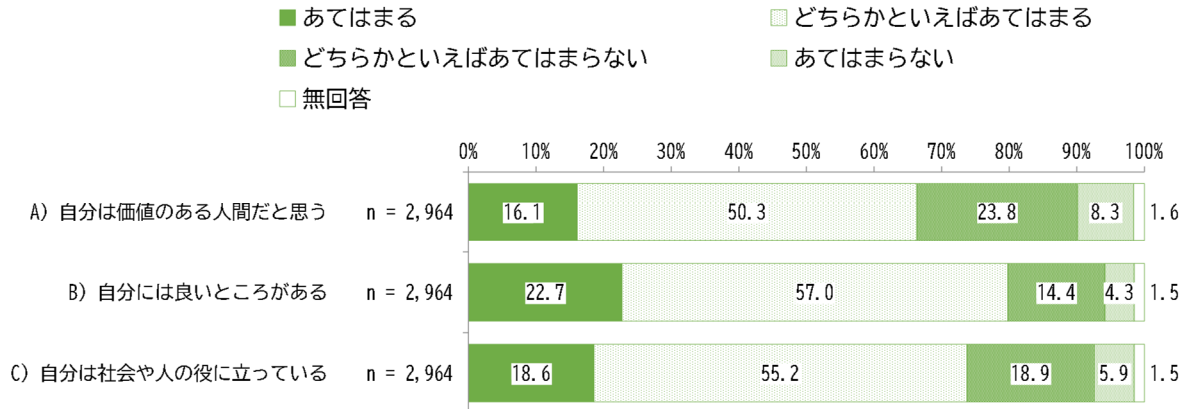


(2) 保護者の自己評価

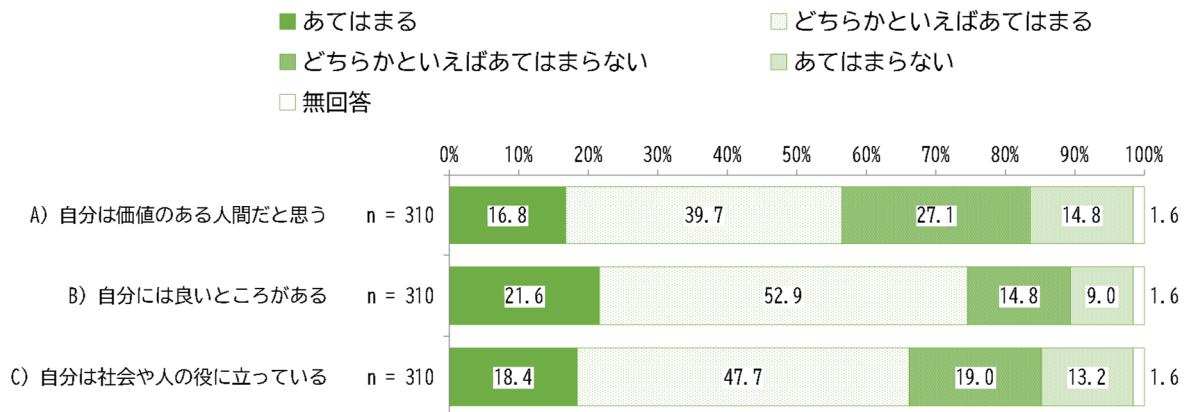
問 51. あなたは、自分自身のことをどう思いますか。(A~Cについて、それぞれ1つに○)

➤ 「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」を合わせた割合は、「価値のある人間だと思う」が66.4%、「良いところがある」は79.7%、「社会の役にたっている」は73.8%です。

図表 24 保護者の自己評価(全体)



図表 25 保護者の自己評価(困窮世帯)

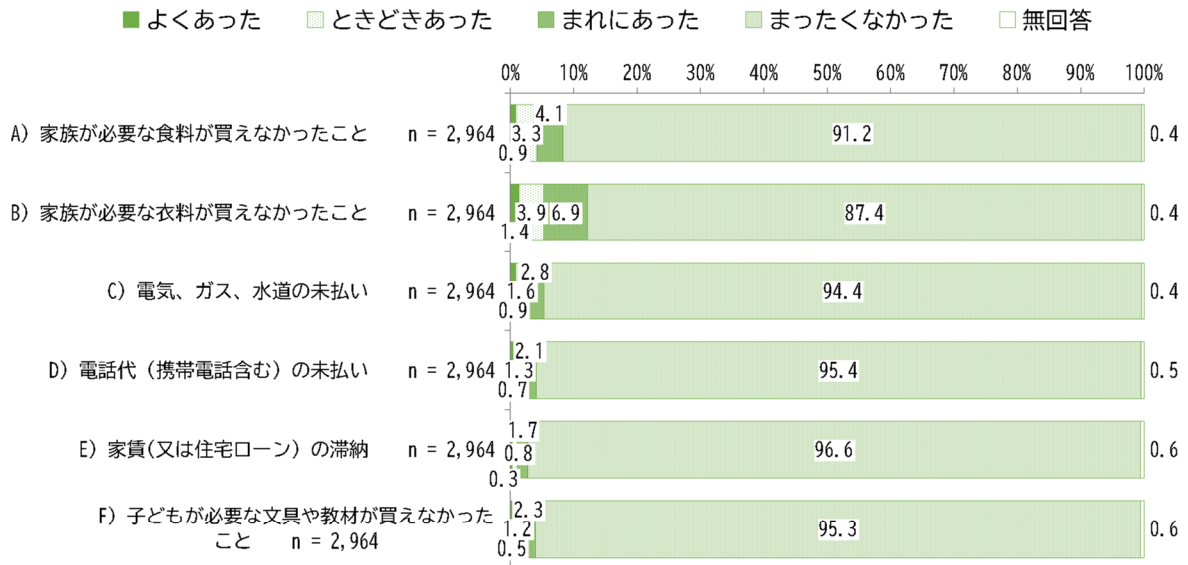


6. 家計の状況

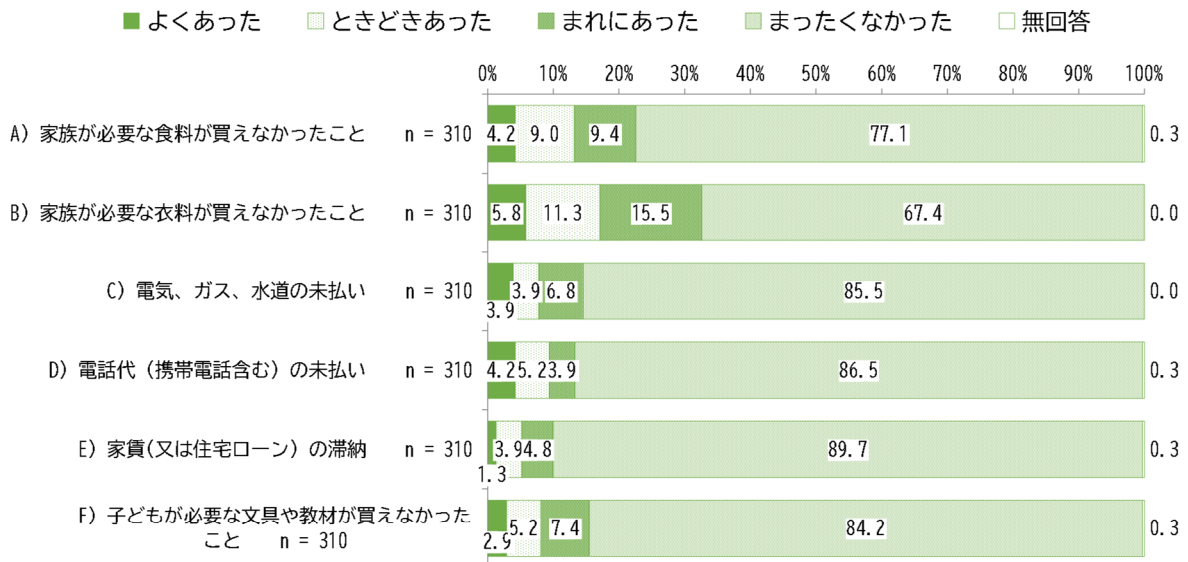
(1) 経済的な理由で購入できなかった、滞納した経験

問 56. あなたの世帯では、過去 1 年間に、経済的な理由により、以下のものが買えなかったり、支払いができなかったりしたことがありましたか。(それぞれ1つに○)

図表 26 経済的な理由で購入できなかった、滞納した経験(全体)



図表 27 経済的な理由で購入できなかった、滞納した経験(困窮世帯)

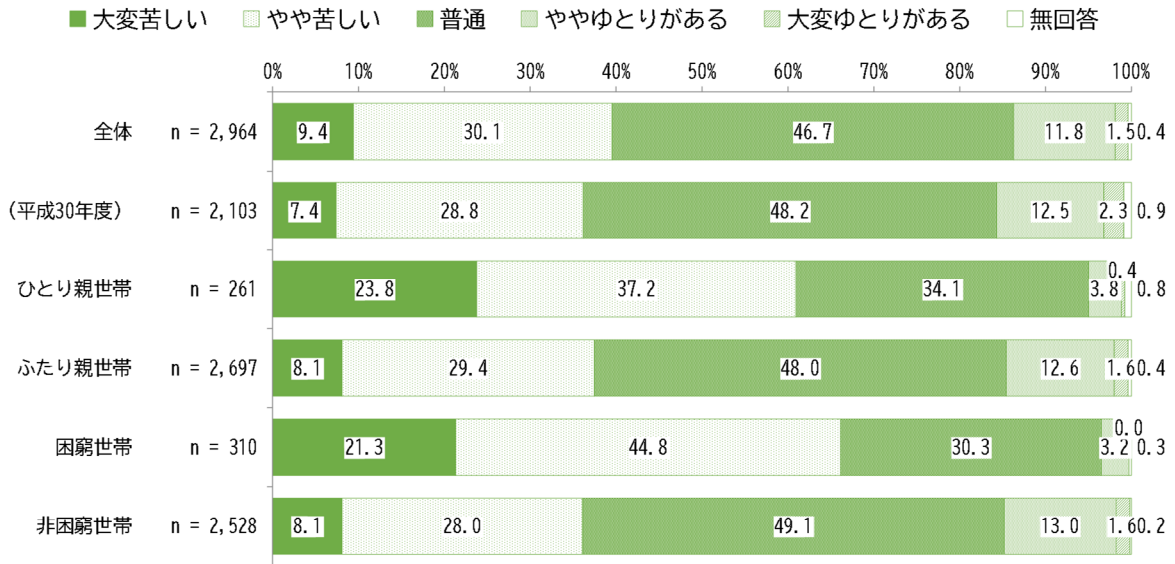


(2) 暮らしの状況

問 57 あなたの世帯の現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。

- 「普通」が46.7%で最も多くなっています。
- 「大変苦しい」「やや苦しい」を合わせると39.5%です。

図表 28 暮らしの状況



7. 子育て環境や支援に対する満足度

問 58 長岡市における子育ての環境や支援への満足度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 「とても満足」「まあまあ満足」を合わせると57.5%です。

図表 29 子育て環境や支援に対する満足度

